

公園内で見られる 植物

写真は2月11日（土）
自然観察会で見られた
植物です



ムベ（ムベ属）

葉はふつう5小葉。常緑で質は厚く、光沢がある。



ツルグミ (グミ属)

小枝は下向きにのび、これでほかの樹木にからみつく。(先端は何処でしょう?)



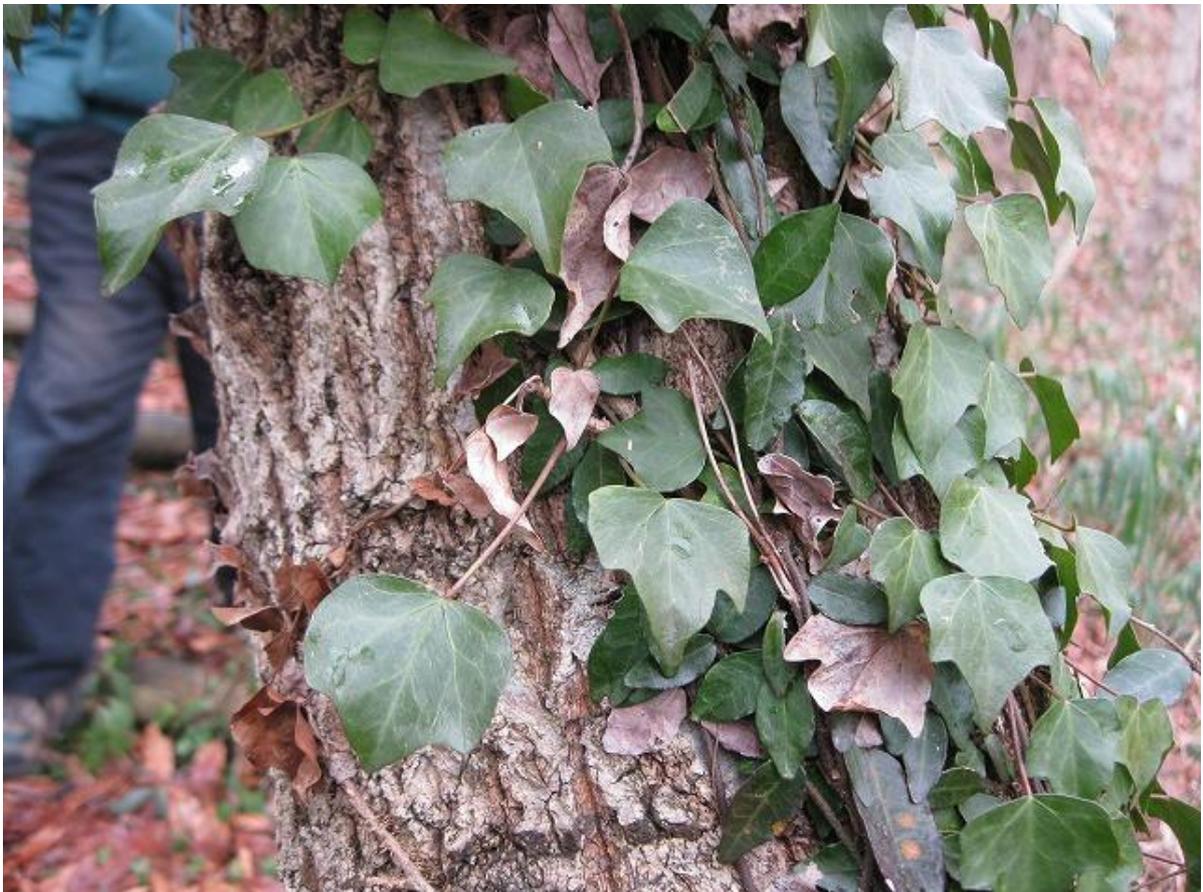
テイカカズラ (テイカカズラ属)

茎や葉を乾燥し、煎じて解熱や強壮などの薬用にする。



ジャケツイバラ (ジャケツイバラ属)

大きな葉痕の上部に数個の冬芽が縦に並ぶ。枝はつる状に伸び、鋭い刺がある。



キツタ (キツタ属)

茎や枝から気根をだして、ほかの樹木の幹などによじ登る。



サネカズラ (サネカズラ属)

葉は革質で光沢がある。裏面は紫色を帯びることが多い。



ラクウショウ (ヌマスギ属)

地中から伸び出してきた膝根。他の樹木ではあまり見かけない変わった性質だ。



ツチグリ (ツチグリ属)

幼菌は球形。熟後6~10片の星形に烈開、湿乾に応じて開閉する。キノコの晴雨計ともいわれる。



スイカズラ (スイカズラ属)

葉は対生で、冬になると内側に巻く。果実は2個ずつ並んでつき、黒く熟す。